横浜キネマ倶楽部
臨時　会報
2020年8月10日発行
特別上映会

１９９９年の夏休み

金子修介監督作品

１９８８年／日本／９０分／カラー／ＤＶＤ上映

（C）1988 日活／アニプレックス

2020年8月10日（月・祝）
トークイベントゲスト　：　金子修介監督

［上映時間］　①１１：３０　②１４：００　③１６：３０

［ﾄｰｸｲﾍﾞﾝﾄ］　①１３：０５　②１５：３５　③１８：０５

［会　　場］　横浜市大倉山記念館ホール

『 1999年の夏休み 』

【物　語】

山と森に囲まれ、世間から隔絶された全寮制の学院(大倉山記念館)に、少女のように美しい少年たちが共同生活をしている。
初夏のある夜、その中の一人、悠が崖から湖に身投げして死んだ…。
夏休みになって、帰る所がなく寮に残ったのは三人。
自分を愛していた悠の自殺に自責の念にかられている和彦。
和彦に対して深い思いやりで接しているリーダー格の直人。
そして和彦の悠に対する想いに強い嫉妬を抱いている下級生の則夫。
ある日、悠と瓜二つの転入生・薫が三人の前に現れた。
薫の中に悠の面影を見て混乱し動揺する三人。
そして彼らの関係性は奇妙な方向にねじ曲がっていく…。

【出　演】

宮島依里　大寶智子　中野みゆき　水原里絵(深津絵里)

【スタッフ】

監督:金子修介　脚本:岸田理生　撮影:高間賢治　音楽:中村由利子

【大 倉 山 記 念 館】

実業家で後に東洋大学学長を務めた大倉邦彦(1882～1971年)により昭和7年(1932年)「大倉精神文化研究所」の本館として創建されました。昭和56年(1981年)横浜市が寄贈を受け、大改修のうえ建物の保存を図るとともに、昭和59年(1984年)横浜市大倉山記念館として生まれ変わり、平成3年(1991年)には横浜市指定有形文化財に指定されました。

【お 知 ら せ】

大倉山記念館　映画ロケ地巡り 参加者募集中
参加料／定員：無料／10名
日　時：２０２０年９月１３日 日曜日
１回目　13時30分　　２回目　14時30分
集合場所：大倉山記念館の前

作品のロケ地について説明をしながら館内を巡る催しです。
9月13日(日)は大倉山記念館のオープンデイとし館内をご自由にご覧いただけます。

応募方法等詳細は　https://ykc.jimdofree.com/　でご確認ください

<< 金子修介 監督 >>>

１９５５年６月８日東京都渋谷区初台生まれ。
渋谷区立幡代小学校、三鷹市立第四中学校、都立三鷹高校を経て、78 年、東京学芸大学卒業、
助監督として日活入社。84 年「宇野鴻一郎の濡れて打つ」にて監督デビュー。

＜主な作品＞

『就職戦線異状なし』（1991 年）、『ネクロノミカン』（1993 年）、『ガメラ大怪獣空中決戦』（1995 年）、『学校の怪談３』（1997 年）、『ゴジラ・モスラ・キングギドラ　大怪獣総攻撃』（2001 年）、『デスノート』（2006 年）、『スキャナー記憶のカケラをよむ男』（2016 年）

☆パーソナル・ヒストリー☆

父・金子徳好は反戦運動家。母・金子静枝は切り絵作家。弟・金子二郎は脚本家。テレビっ子のマンガ少年として育ち、小学校低学年ではガリ版刷りのビラ新聞を発行したりするが、高学年では演劇と右翼思想を子供に教えるスパルタ担任教師・故濱野敏明先生の影響を受け、家は三鷹市に引っ越したのに初台の幡代小に卒業まで越境のバス電車通学をする。

都立三鷹高校1年の夏休み、文化祭出展のために、クラスで8ミリ映画『斜面』を脚本監督、71 年度全都高校8ミリ映画コンテストに入賞。3年時制作の『水色の日射し』は、73年度読売主催日本を記録するフィルムフェスティバルに入賞、将来の職業として映画監督を目指すようになる。

しかし斜陽映画産業の実態を噂に聞き、映画監督になれなかった場合のことを考え、学芸大学の小学校教員養成課程国語学科に入学。教員免状取得を目指しつつ、先輩部員２人しかいない映研サークルに3人目として入り、8ミリ長編映画『キャンパスホーム』『貝の季節』『プリズムタワー』『銀色の十字架』などを作り、教育実習も経験（77 年・板橋区立志村第二小学校）。

だが結局、教員免状を取っても教師にはならず、替わりに助監督試験に合格し（300 人中、2 名合格の難関）助監督としてロマンポルノなど35本に就く。日活に下請けされた一般映画、児童映画にも数本、中には森田芳光監督の『家族ゲーム』『メインテーマ』などにも就いている。 内トラ“内輪エキストラの略”出演も多数経験。助監督としてのハードな仕事をしながら、TVアニメ『うる星やつら』『魔法の天使クリーミーマミ』などの脚本を書き、脚本賞である城戸賞の最終選考に残ったことが決めてか？数人の先輩を抜いて監督昇進。（小学校の同級生に劇作家の野田秀樹、大学映研の先輩部員にアニメ監督の押井守がいる）

『メインテーマ』でチーフ助監督のとき

www.shusuke-kaneko.com より引用

横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト 2020

昨年に引き続き、今年も「ヨコハマアートサイト２０２０」に採択されました！！

〈採択事業内容〉

ロケ地で映画を観賞しよう！！

聖地巡礼上映会

『1999年の夏休み』in大倉山記念館（港北区）＆『風のある道』in神奈川県立音楽堂（西区）

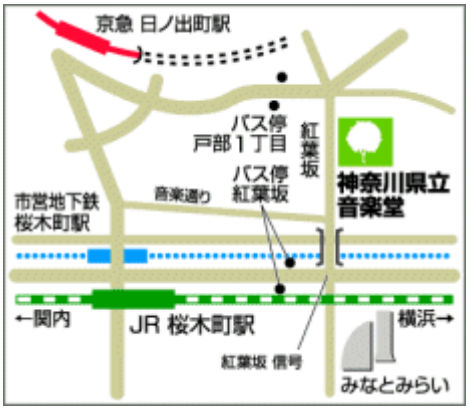
次回第６０回記念上映会のお知らせ

第６０回記念上映

『 風のある道 』

２０２０年９月２２日（火・祝）
上映時間　１４：００ ～
講演：１５：３５～ １６：０５
講師　高崎俊夫さん（映画評論家）

〔入場料〕
前売 1,000 円　　当日 1,300 円
障がい者 1,000 円　（介助者１名無料）



神奈川県立音楽堂 地図

〔会 場〕
神奈川県立音楽堂　０４５－３４１－１２６１
JR「桜木町」駅（南改札西口・北改札西口）から徒歩 10 分
横浜市営地下鉄「桜木町」駅（南１番出口）から徒歩 10 分

… 1959 年/日本映画/モノクロ/89 分/ブルーレイ上映 …

原作：川端康成
出演：芦川いづみ　北原三枝　清水まゆみ　葉山良二　小高雄二　岡田真澄
細川ちか子　芦田伸介　深見泰三　大坂志郎　山根寿子　信欣三
監督：西河克己　脚本：矢代静一/山内亮一/西河克己
音楽：池田正義　撮影：伊佐山三郎

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、２００５年５月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一歩でも近づけたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年４回の上映会を行っています。

横浜キネマ倶楽部会報

発行：横浜キネマ倶楽部

・・・横浜キネマ倶楽部　連絡先・・・
TEL:080－8118－8502（10時～18時）
Eメール:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス:https://ykc.jimdofree.com/